

2015年9月期
第4四半期(通期)決算説明会

2015年11月5日

株式会社セプテーニ・ホールディングス
<http://www.septeni-holdings.co.jp>
証券コード：4293



1. 四半期連結決算概要
2. ネットマーケティング事業
3. メディアコンテンツ事業
4. 2015年9月期 通期レビュー
5. 2016年9月期の方針と1Q業績予想
6. 補足資料

1. 四半期連結決算概要

連結

売上高 **18,437**百万円 (前年同期比**31.8%**増)

営業利益 **952**百万円 (前年同期比**71.4%**増)

ともに四半期ベースでの**過去最高**を大幅に更新

ネット
マーケティング
事業

売上高 **17,738**百万円 (前年同期比**41.5%**増)

営業利益 **1,183**百万円 (前年同期比**66.8%**増)

大幅に業容拡大、営業利益率の改善傾向も続く

メディア
コンテンツ
事業

売上高 **780**百万円 (前年同期比**8.1%**減)

営業利益 **-121**百万円 (前年同期比**25**百万円減)

マンガコンテンツ事業への先行投資を継続

ネットマーケティング事業の業容拡大により**30%**を超える大幅増収を達成

生産性の向上により営業利益も大幅に伸長、営業利益率は**5.2%**に改善

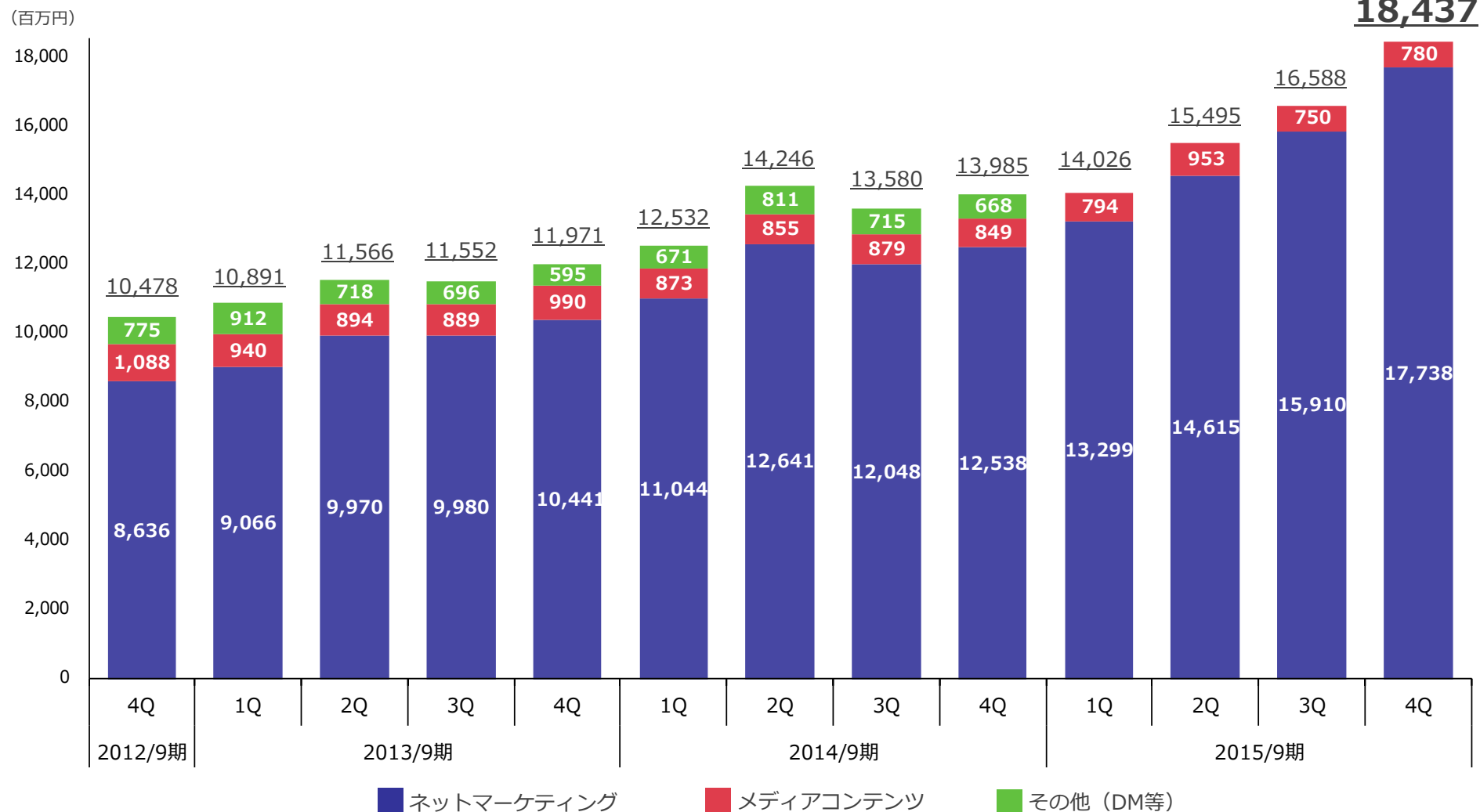
のれんの減損等で258百万円の特別損失を計上

(単位：百万円)	2015年9月期 4Q			2014/9期 4Q (前年同期)		2015/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
売上高	18,437	100.0%	+31.8%	13,985	100.0%	18,000
売上総利益	3,310	18.0%	+27.8%	2,589	18.5%	—
販売管理費	2,357	12.8%	+15.9%	2,033	14.5%	—
営業利益	952	5.2%	+71.4%	555	4.0%	900
経常利益	1,120	6.1%	+92.2%	582	4.2%	900
当期純利益	450	2.4%	+24.6%	361	2.6%	570
EBITDA	1,055	5.7%	+67.5%	630	4.5%	

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

売上高（事業区分別）

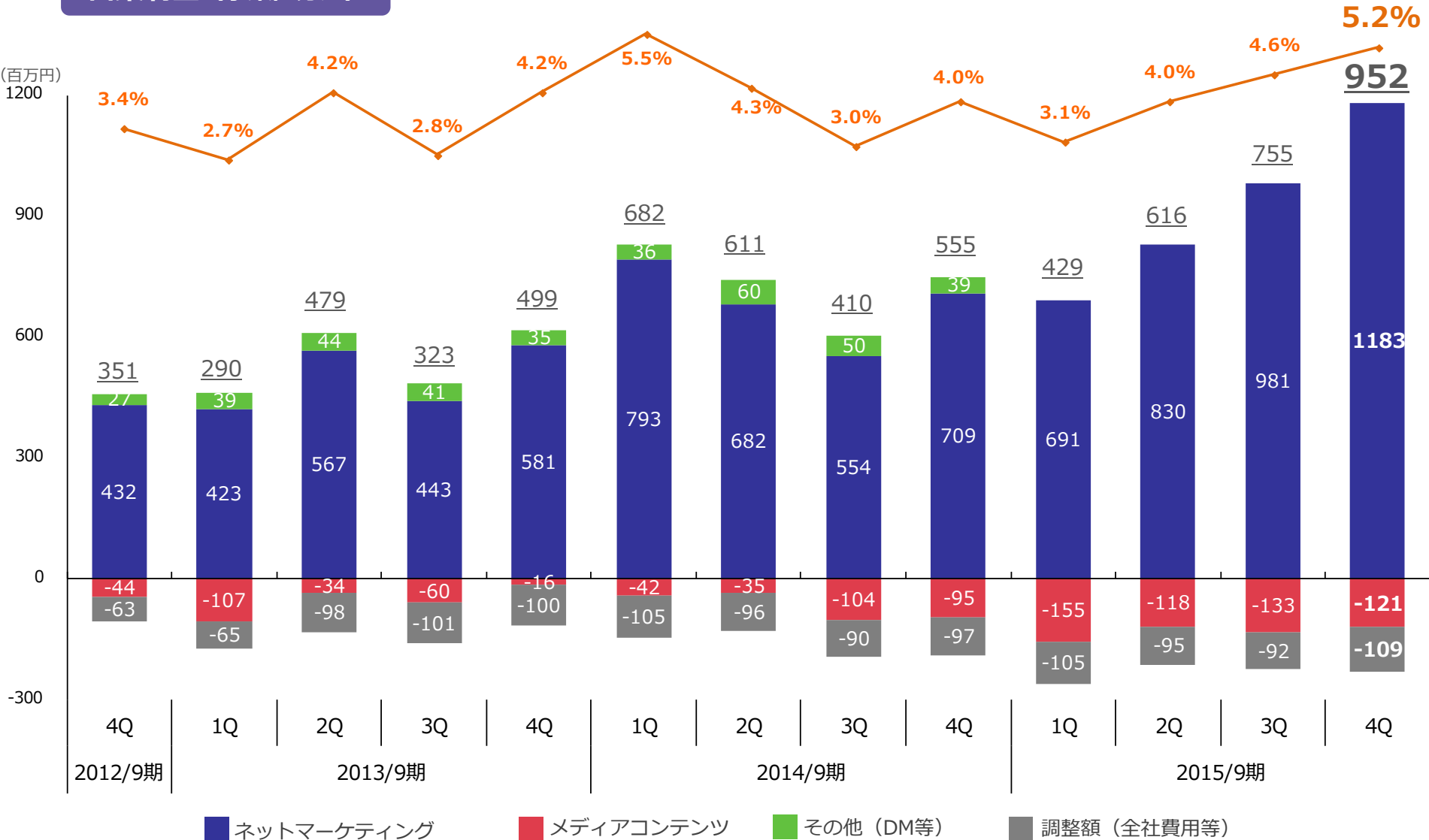
3 四半期連続で過去最高を更新



※ 各事業にはセグメント間売上高が含まれているため、各事業売上高の合計と連結売上高（下線付数値）は一致しない

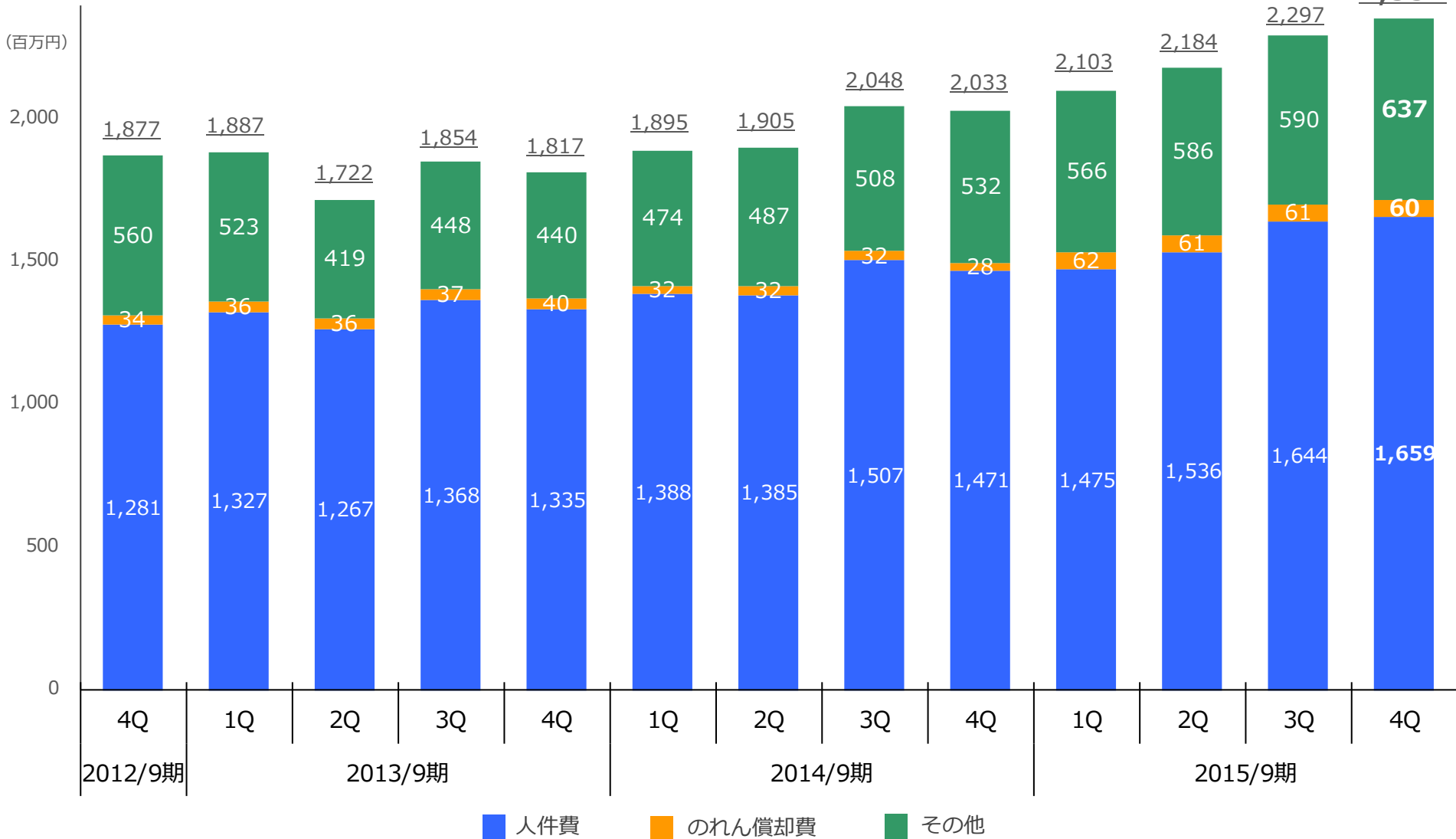
営業利益（事業区分別）

2 四半期連続で過去最高を更新



販売管理費

人件費、のれん償却費、事務所賃料等により前年同期比323百万円増加



2. ネットマーケティング事業

国内外のネットサービス事業者からの出稿が引き続き拡大
増収率は**40%**を超え、売上高とともに過去最高を更新

売上総利益も30億円を突破し、過去最高を更新
生産性の向上により営業利益も大きく伸長し、営業利益率は**6.7%**に改善

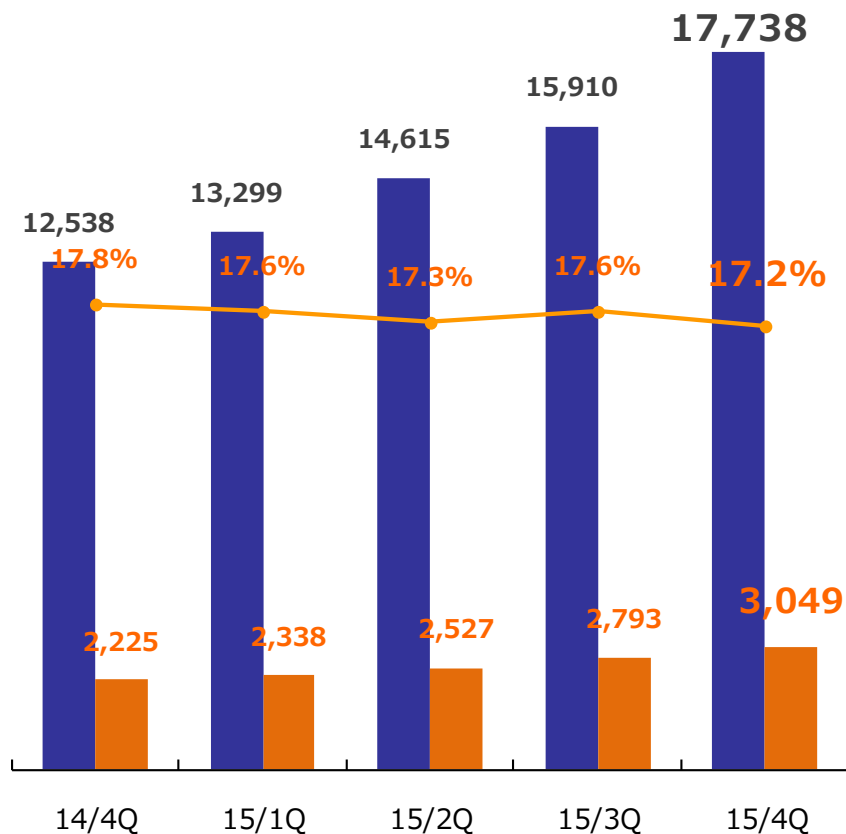
海外売上が引き続き拡大、構成比は**18.3%**に上昇
スマホ広告とソーシャル事業も順調に成長

(単位：百万円)	2015年9月期 4Q			2014/9期 4Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
売上高	17,738	100.0%	+41.5%	12,538	100.0%
売上総利益	3,049	17.2%	+37.0%	2,225	17.8%
販売管理費	1,865	10.5%	+23.1%	1,515	12.1%
営業利益	1,183	6.7%	+66.8%	709	5.7%

売上高・売上総利益

ともに過去最高を更新

(百万円)

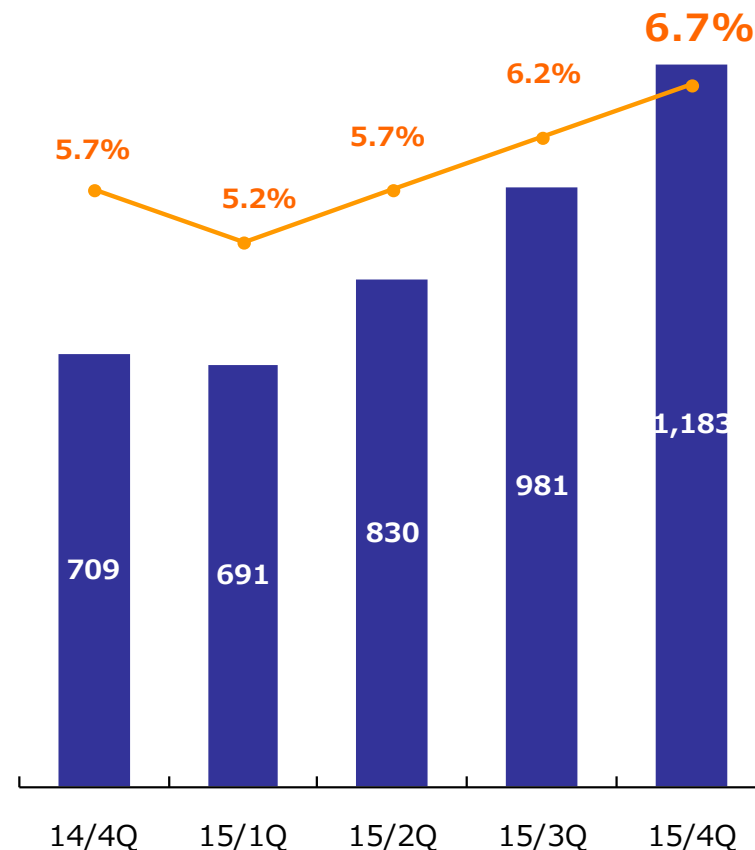


■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率

営業利益

過去最高を更新
利益率も着実に向上

(百万円)

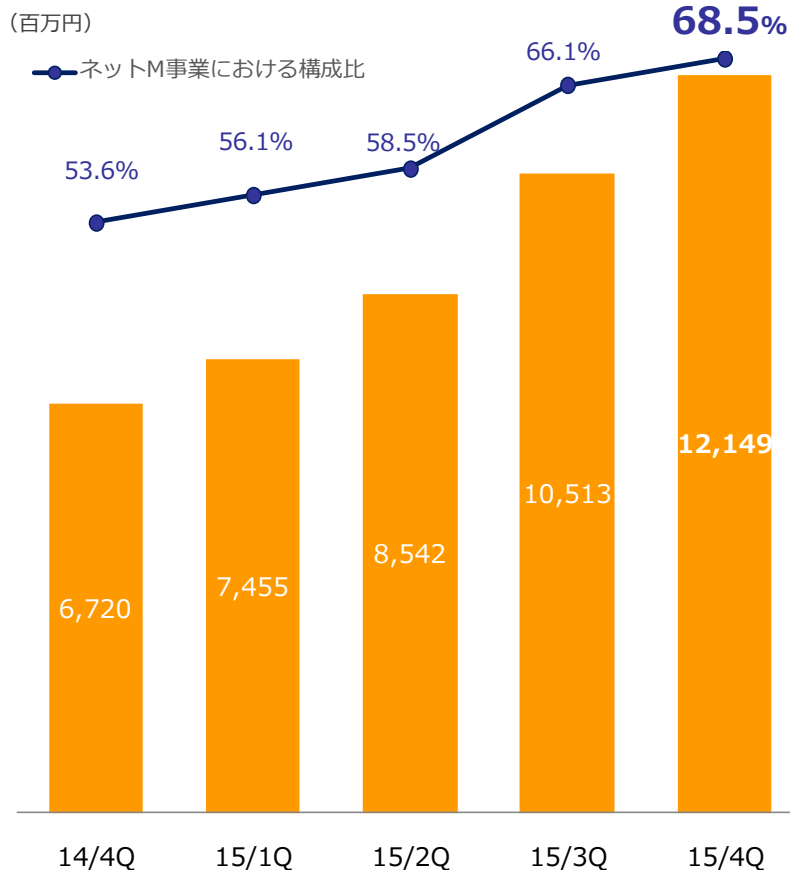


■ 営業利益 ● 営業利益率

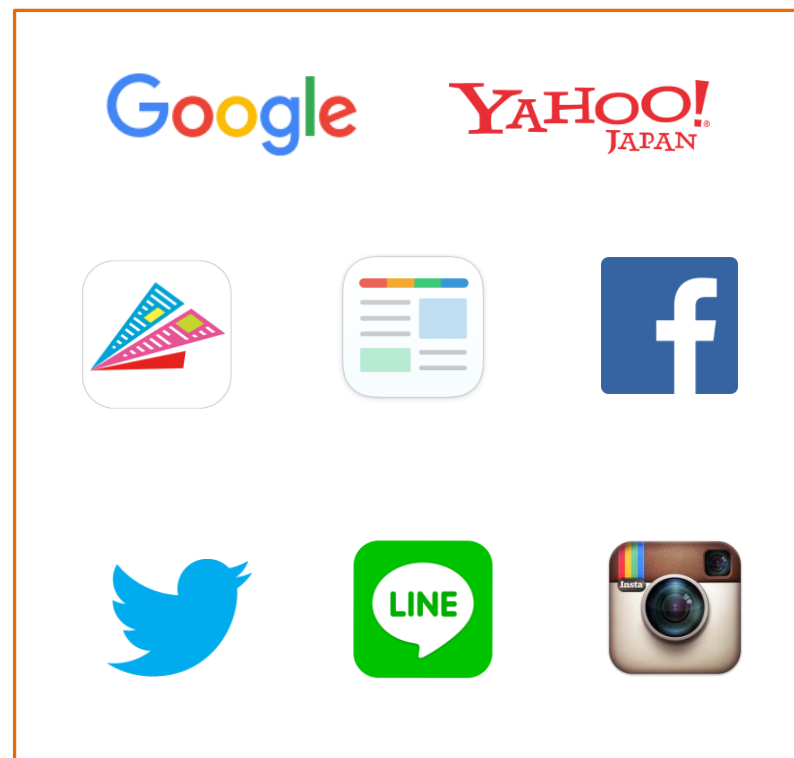
スマートフォン広告売上高は前年同期比約**1.8倍**に拡大

Yahoo! JAPANを中心にネイティブ広告の高成長が続く

スマートフォン広告売上推移



主な取扱メディア



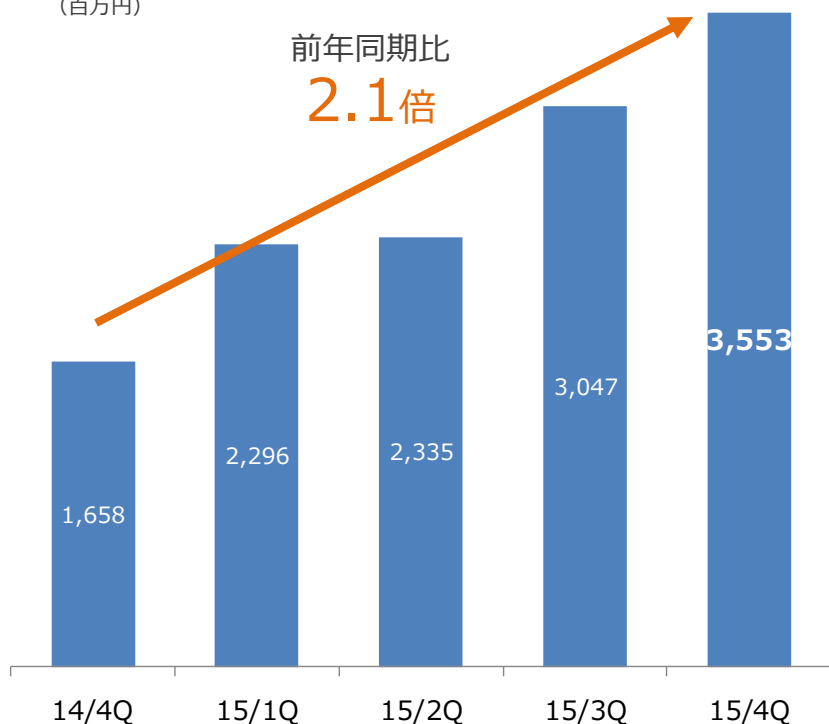
Facebook広告は国内向けに加え、海外配信と韓国子会社取扱分が伸長

Twitter広告も堅調に推移し、ソーシャル事業売上高は前年同期比約**2.1倍**に

ソーシャル事業売上推移

(Facebook、Twitter、LINEの合計)

(百万円)



ビジネスモデル

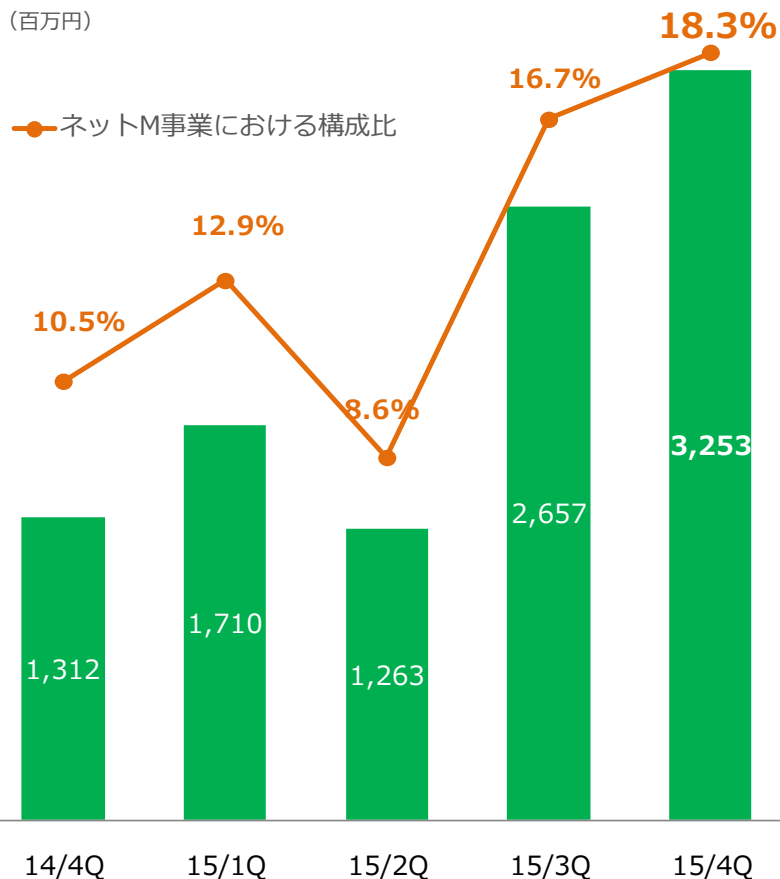


北米、アジアの顧客向けを中心に成長が続き、売上高は前年同期比**2.5倍**に拡大

ニューヨーク支店を開設（2015年10月より営業開始）

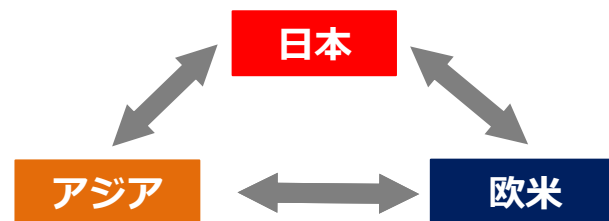
海外売上推移

(百万円)



ビジネスモデル

海外に**5か所**の営業拠点を展開し、
ネット広告の**クロスボーダー取引体制**を構築



3. メディアコンテンツ事業

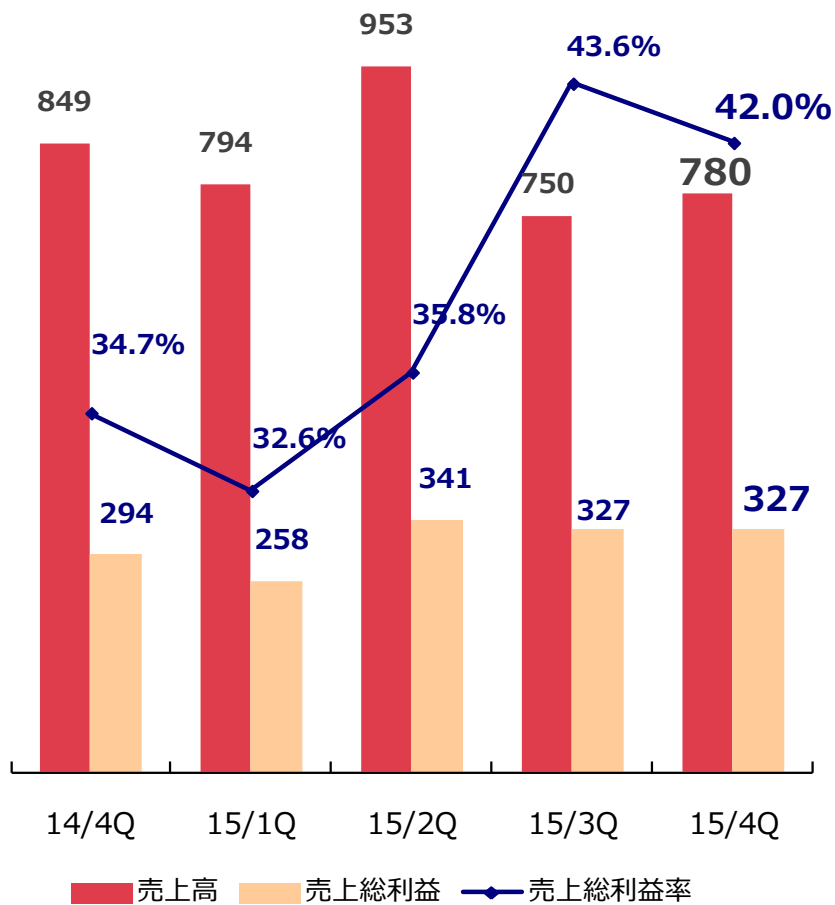
モバイルゲーム「キングダム -英雄の系譜-」が堅調に推移
 アクセルマークは前四半期比で増収増益に

マンガコンテンツ事業では、自社IPの商業化を推進する一方、
 作家育成や配信サービス充実のための先行投資を継続し、新規事業に係る営業損失は144百万円に

(単位：百万円)	2015年9月期 4Q			2014/9期 4Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
売上高	780	100.0%	-8.1%	849	100.0%
売上総利益	327	42.0%	+11.3%	294	34.7%
販売管理費	448	57.5%	+15.1%	389	45.9%
営業利益	-121	-15.5%	(-25)	-95	-11.2%

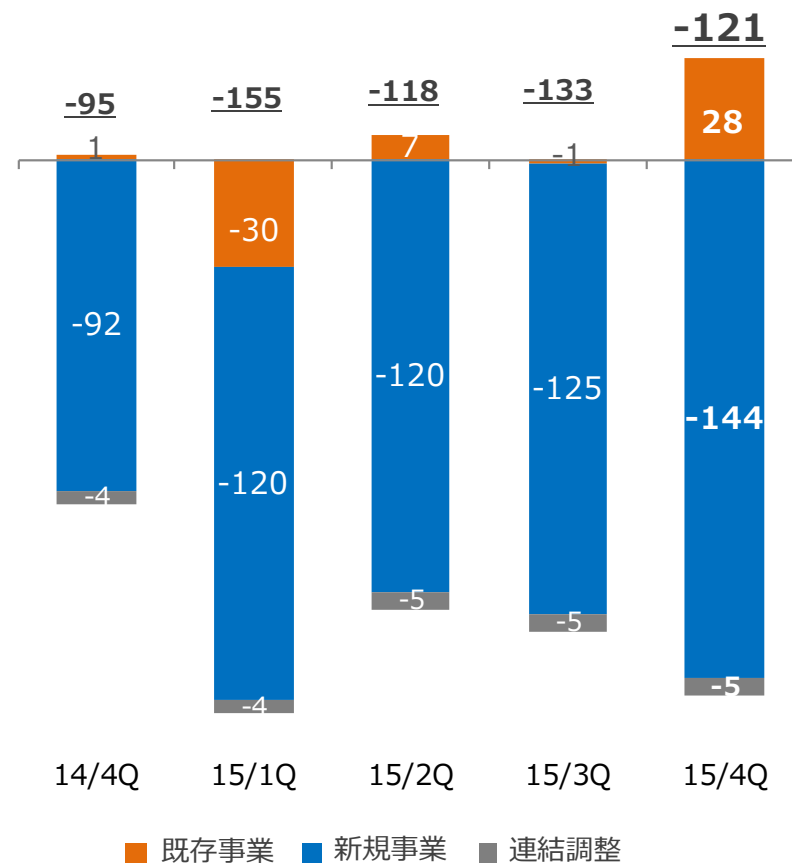
売上高・売上総利益

(百万円)



営業利益

(百万円)

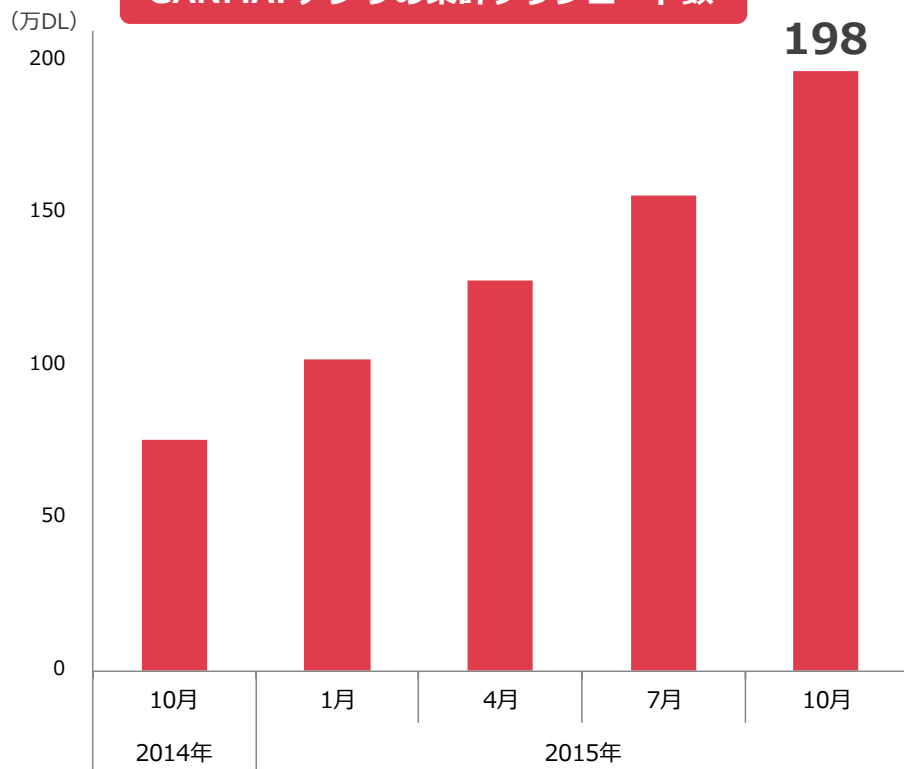


GANMA!の月間ページビュー数が**4.7億PV**を突破（2015年10月）

アプリ内ネイティブ広告「**GANMA! AD**」を配信開始

「**LICHT-リヒト-**」など3作品を新たに書籍化（2015年10月）

GANMA! アプリの累計ダウンロード数



© 明/ COMICSMART INC. 2015



© 鶴川かきお/ COMICSMART INC. 2015

4. 2015年9月期 通期レビュー

連結

売上高 64,547百万円 (前期比18.8%増)
営業利益 2,753百万円 (前期比21.9%増)

4期連続で過去最高益を更新

ネット
マーケティング
事業

売上高 61,563百万円 (前期比27.5%増)
営業利益 3,686百万円 (前期比34.5%増)

成長分野への注力により業容拡大と収益性向上の両立を継続

メディア
コンテンツ
事業

売上高 3,278百万円 (前期比5.2%減)
営業利益 -528百万円 (前期比251百万円減)

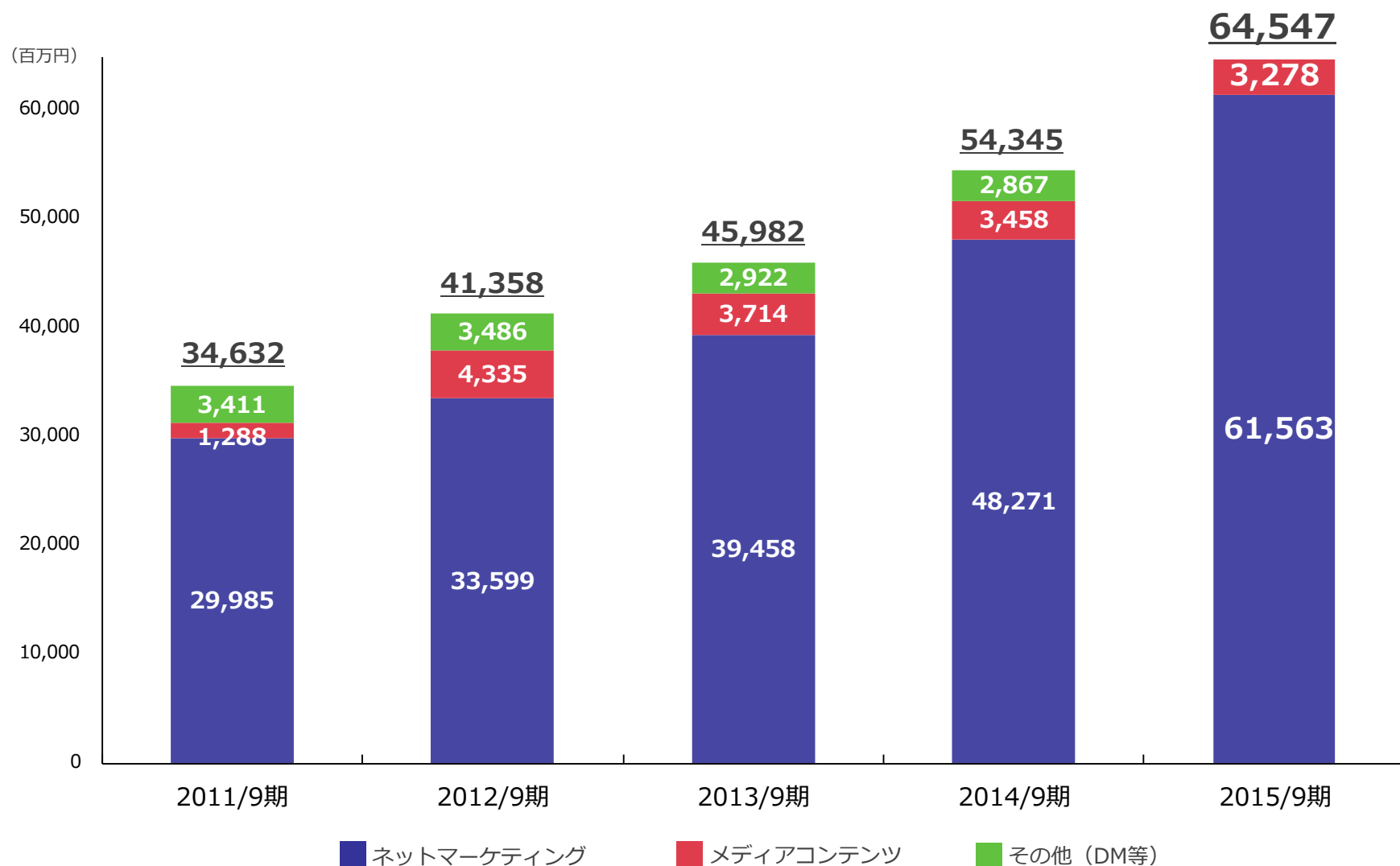
マンガコンテンツ事業への先行投資を積極化

ネットマーケティング事業が連結業績を牽引、**4期連続**で全指標での**過去最高**を更新
 DM事業の売却に伴う子会社株式売却益を中心に特別利益を1,238百万円計上
 当期純利益の伸長に伴い、**3期連続**となる**増配**を予定（1株当たり14円に）

(単位：百万円)	2015年9月期 通期			2014/9期 通期 (前期)		2015/9期 通期 業績予想
	金額	比率	前期比	金額	比率	
売上高	64,547	100.0%	+18.8%	54,345	100.0%	64,110
売上総利益	11,696	18.1%	+15.3%	10,141	18.7%	—
販売管理費	8,942	13.9%	+13.5%	7,882	14.5%	—
営業利益	2,753	4.3%	+21.9%	2,259	4.2%	2,701
経常利益	3,118	4.8%	+32.0%	2,362	4.4%	2,897
当期純利益	2,398	3.7%	+54.8%	1,549	2.9%	2,518
EBITDA	3,158	4.9%	+23.1%	2,566	4.7%	

売上高（事業区分別）

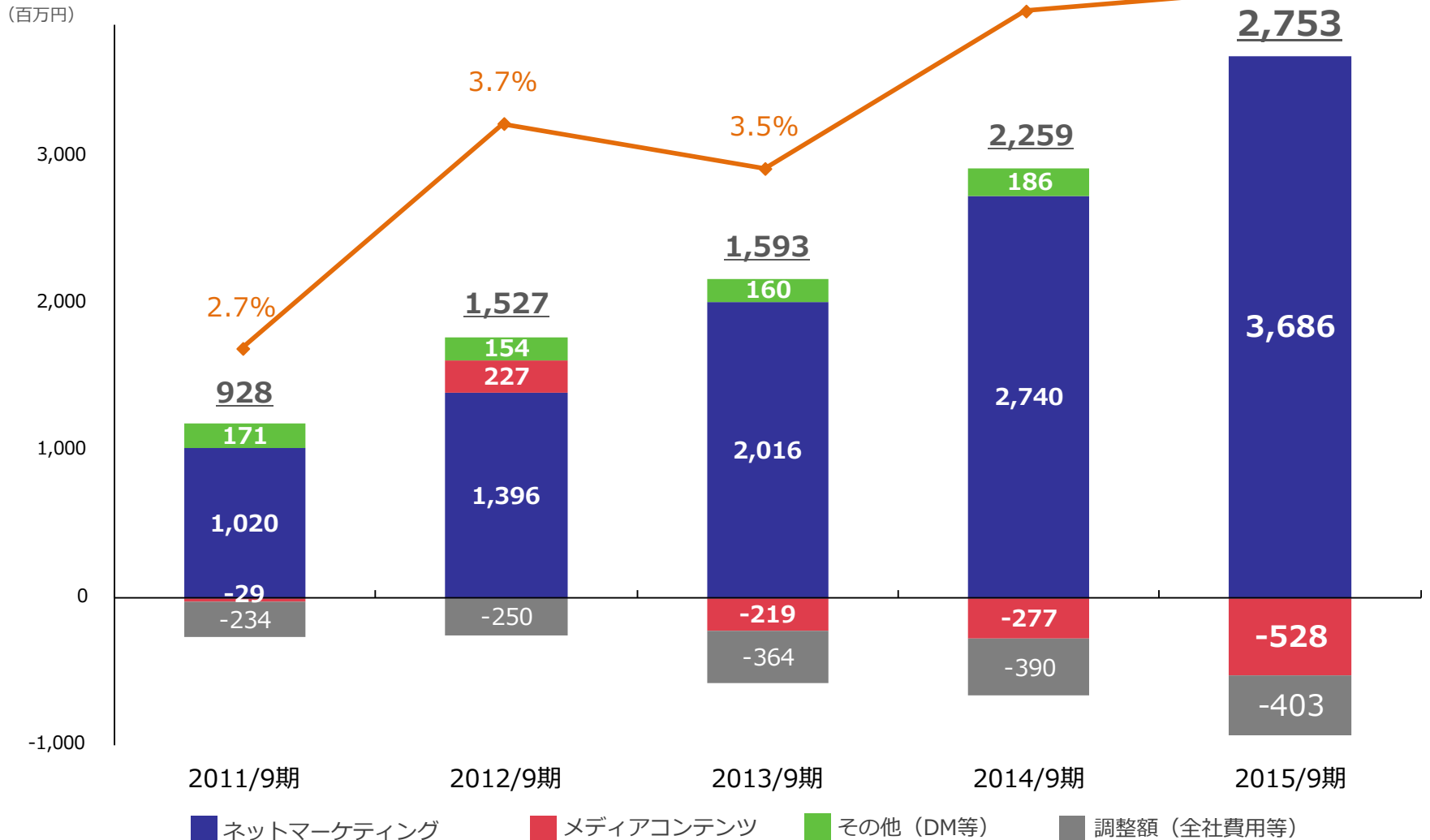
DM事業売却によるマイナスをカバーし、前期並みの増収率を確保



※ 各事業にはセグメント間売上高が含まれているため、各事業売上高の合計と連結売上高（下線付数値）は一致しない

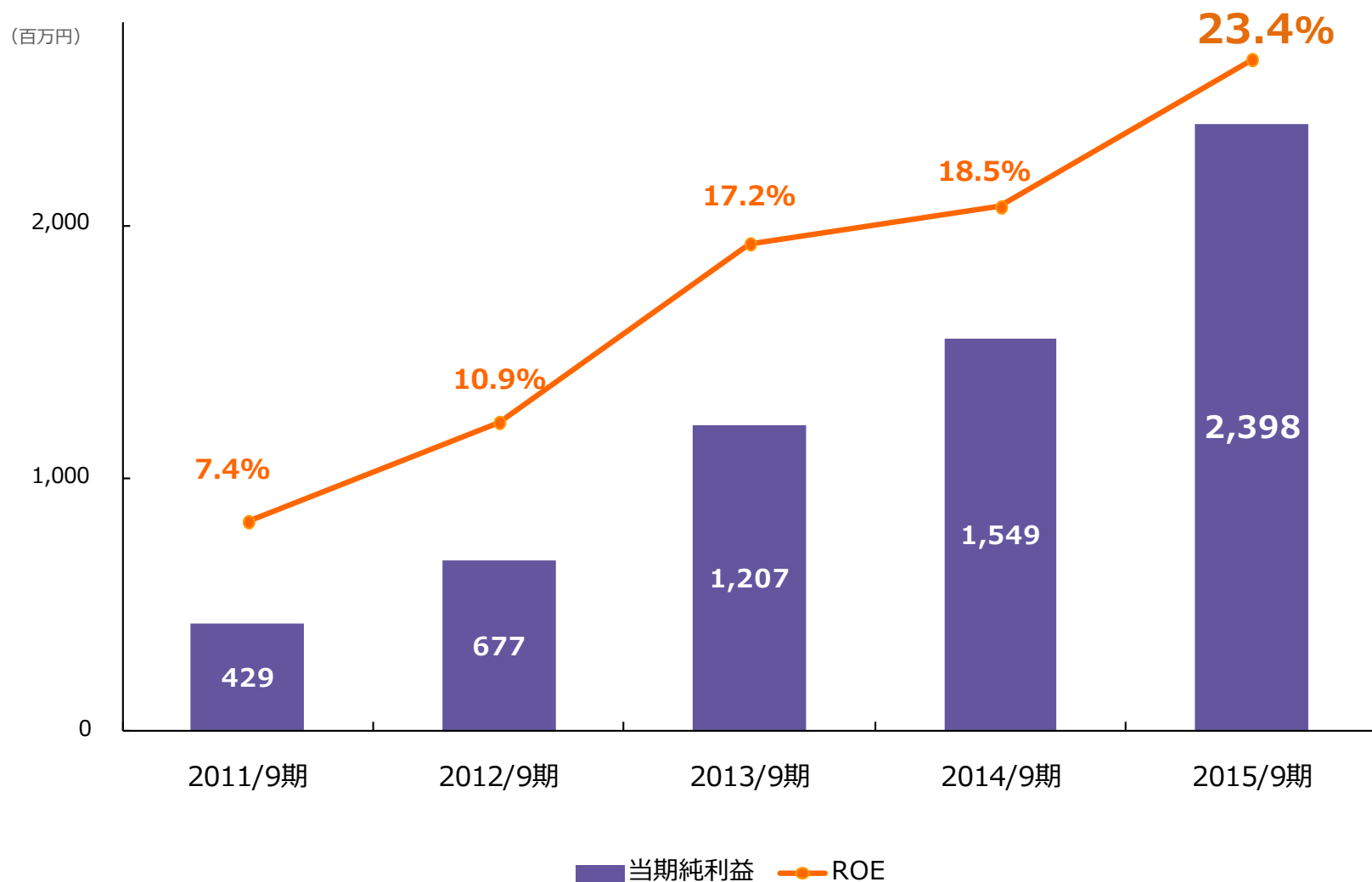
営業利益（事業区分別）

マンガコンテンツ事業への先行投資拡大も吸収し増益



当期純利益・ROE

DM事業売却による特別利益も寄与し大幅に伸長



売上高		営業利益			
金額	前期比	金額	前期比	利益率	前期比
61,563	+27.5%	3,686	+34.5%	6.0%	+0.3pt

業績

- モバイル・ソーシャル・グローバルの各注力分野での高成長が続き、売上成長が加速
- 生産性が向上し営業利益も大幅に伸長、営業利益率は**6.0%**となり4期連続で改善

モバイル

- スマホ広告売上高は前期比約**1.7倍**の386億円となり、構成比は約**63%**に
- ネイティブ広告領域が牽引し市場シェア向上

ソーシャル

- 売上高は前期比約**2.1倍**の112億円に伸長
- 主力のFacebook広告に加え、Twitter広告の成長加速も寄与

グローバル

- 海外売上高は前期比約**2.2倍**の88億円に拡大、構成比は約**14%**に上昇
- 北米拠点の取扱高が拡大するとともに、韓国子会社を新規連結

売上高		営業利益			
金額	前期比	金額	前期比	利益率	前期比
3,278	-5.2%	-528	(-251)	-16.1%	-8.1pt

モバイルゲーム事業

- ネイティブゲームを2本リリース
「キングダム -英雄の系譜-」は堅調に推移するも、
その他のタイトルが伸び悩み、アクセルマークは減収減益に

マンガコンテンツ事業

- 配信プラットフォームの規模が着実に拡大
直近の累計ダウンロード数は前年同期比約**2.6倍**となる**198万DL**、
月間ページビュー数は**4.7億PV**にまで成長
- 自社IPの商業化を推進
期中にアニメ1作品（「ミリオンドール」）、書籍3作品を手がける
- マンガコンテンツ事業を中心とした新規事業への先行投資に係る損失は、
前期比約1.6倍の511百万円に拡大

5. 2016年9月期の方針と 1Q業績予想

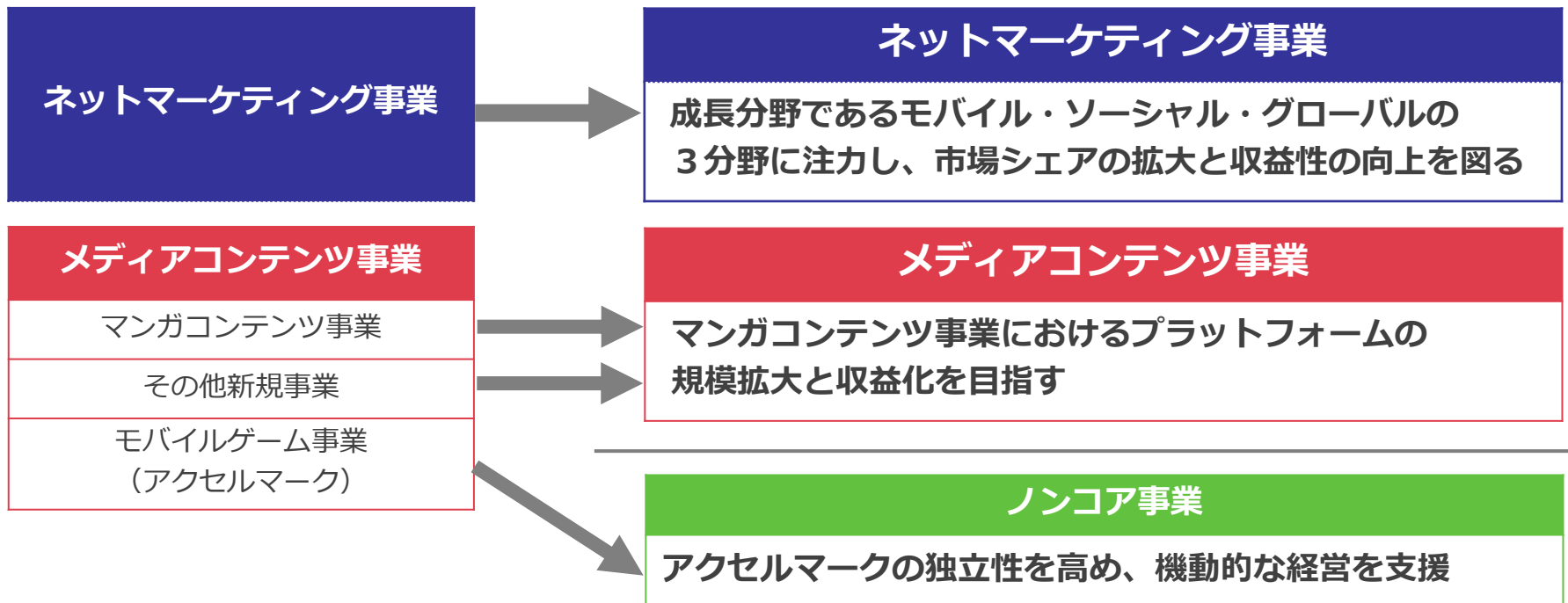
中期経営方針（2013年11月発表）のコンセプト「**利益倍増**」の達成を目指す

モバイルゲーム事業（アクセルマーク）を「**ノンコア事業**」に変更、事業の選択と集中を強化

- 当社が保有するアクセルマーク株式の一部を11月9日付で売却、議決権比率は50%未満に低下する予定
- 兼務役員は12月16日開催予定のアクセルマーク第23回定時株主総会をもって全員退任
- 当社の子会社ではなくなるが、IFRSの連結決算上は引き続き連結対象

2015年9月期の事業区分

2016年9月期の事業区分と方針



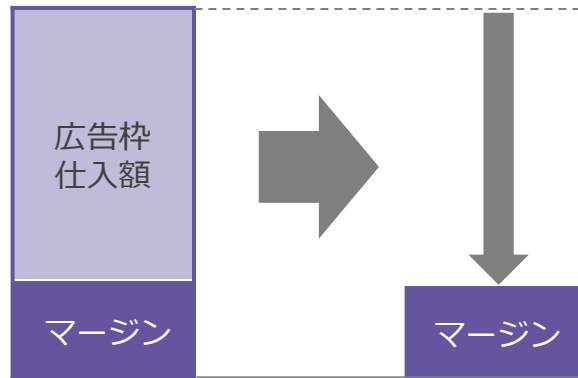
収益（トップライン）の計上方法

ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売において、従来の総額（グロス）計上から

純額（ネット）計上に変更

売上高（日本基準）

収益（IFRS）



のれんの取扱い

日本基準では定額償却していたが、IFRSでは償却しない一方、毎期減損テストを実施するため、減損リスクを負う

「Non-GAAP営業利益」を任意開示

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した

恒常的な事業の業績を測る利益指標

損益計算書の差異

日本基準	IFRS
売上高	収益
売上総利益	売上総利益
販売管理費	販売管理費
営業利益	その他の収益
営業外収益	その他の費用
営業外費用	営業利益
経常利益	金融収益
特別利益	金融費用
特別損失	持分法による投資利益
税金等調整前当期純利益	税引前当期利益
法人税等合計	法人所得税費用
少数株主損益調整前当期純利益	当期利益
少数株主損益	(内訳)
当期純利益	親会社の所有者
	非支配持分
	【任意開示項目】
	売上高
	Non-GAAP営業利益

2016年9月期よりIFRSに移行

ネットマーケティング事業は堅調に推移しており、前年同期比で増収増益の見通し

メディアコンテンツ事業は、各種新規事業の寄与もあり増収を見込むも、マンガコンテンツ事業の先行投資により前年同期比で赤字幅拡大を予想

前年同期にDM事業売却に伴う特別利益を計上、親会社の所有者に帰属する当期利益は減益に一方、「継続事業からの当期利益」は+20%以上の増益を見込む

	2015年9月期 1 Q実績	2016年9月期 1 Q予想	予想成長率
収 益	3,188	3,900	+ 22.3%
Non-GAAP営業利益	497	800	+ 60.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,054	500	- 52.6%
【参考】売上高	14,026	17,600	+ 25.5%

(単位：百万円)

	収 益			Non-GAAP営業利益		
	2015/9期 1Q実績	2016/9期 1Q予想	前年同期比	2015/9期 1Q実績	2016/9期 1Q予想	前年同期比
ネット マーケティング	2,422	3,107	+28.3%	725	1,117	+54.1%
メディア コンテンツ	33	139	+318.5%	△124	△ 165	(-40)
コア事業合計	2,455	3,246	+32.2%	600	952	+58.6%
ノンコア (アクセルマーク)	761	663	-12.8%	△4	△51	(-46)
消去・全社	△28	△10	(+17)	△97	△101	(-3)
連 結	3,188	3,900	+22.3%	497	800	+60.7%

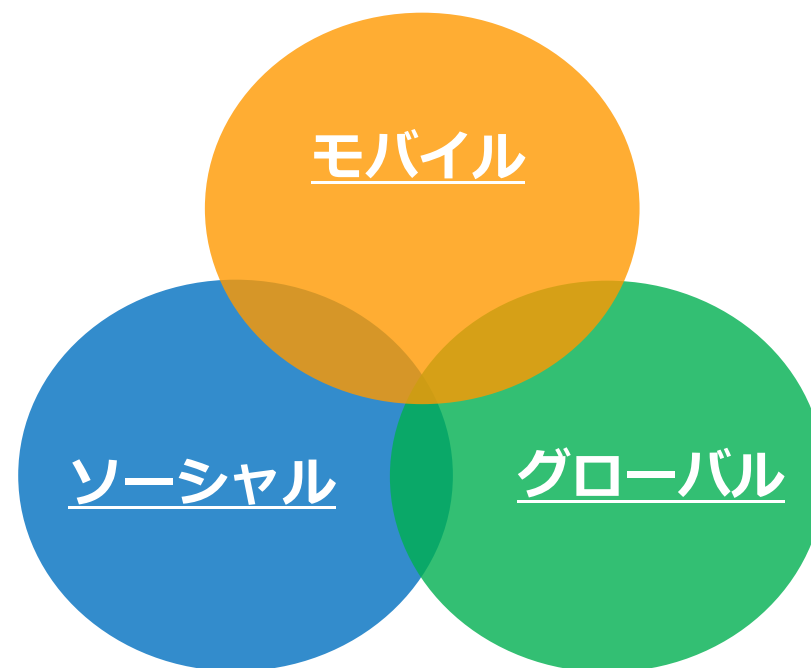
コンセプト

注力分野

「利益倍増」

高収益事業の構成比アップ

広告に次ぐ事業の柱をつくる



本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

<http://www.septeni-holdings.co.jp>

経営企画部 IR課

TEL : 03-6857-7258 E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2015年11月5日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

6. 補足資料

2015年9月30日現在

会社名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者	代表取締役社長 佐藤 光紀
所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証券コード	4293 (JASDAQ)
事業内容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設立日	1990年10月29日
資本金	2,070百万円
発行済株式数	27,700,700株 (うち自己株式1,784,600株)
連結従業員数	846名 (正社員)、1,002名 (就業員)

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2015年11月5日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告	Septeni America, Inc.	北米地域におけるインターネットマーケティング事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni Europe Co.,Ltd	欧州地域におけるインターネットマーケティング事業
(株)Vasara	インターネット広告	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
(株)ハイスコア	ソーシャルメディアマーケティング支援事業	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国におけるインターネットマーケティング事業
(株)イーグルアイ	アドネットワーク事業	(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク
(株)セプテーニ・オリジナル	自社サービスの企画・開発	(株)エイエスピー	eマーケティングソリューション事業
Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業	トライコーン(株)	CRMサービス事業

メディアコンテンツ事業

コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	gooddo(株)	社会貢献プラットフォーム事業
(株)ビビビット	マッチング型人材採用プラットフォーム事業	(株)Pharmarket	医療用医薬品の流通仲介プラットフォーム事業

新規事業開発

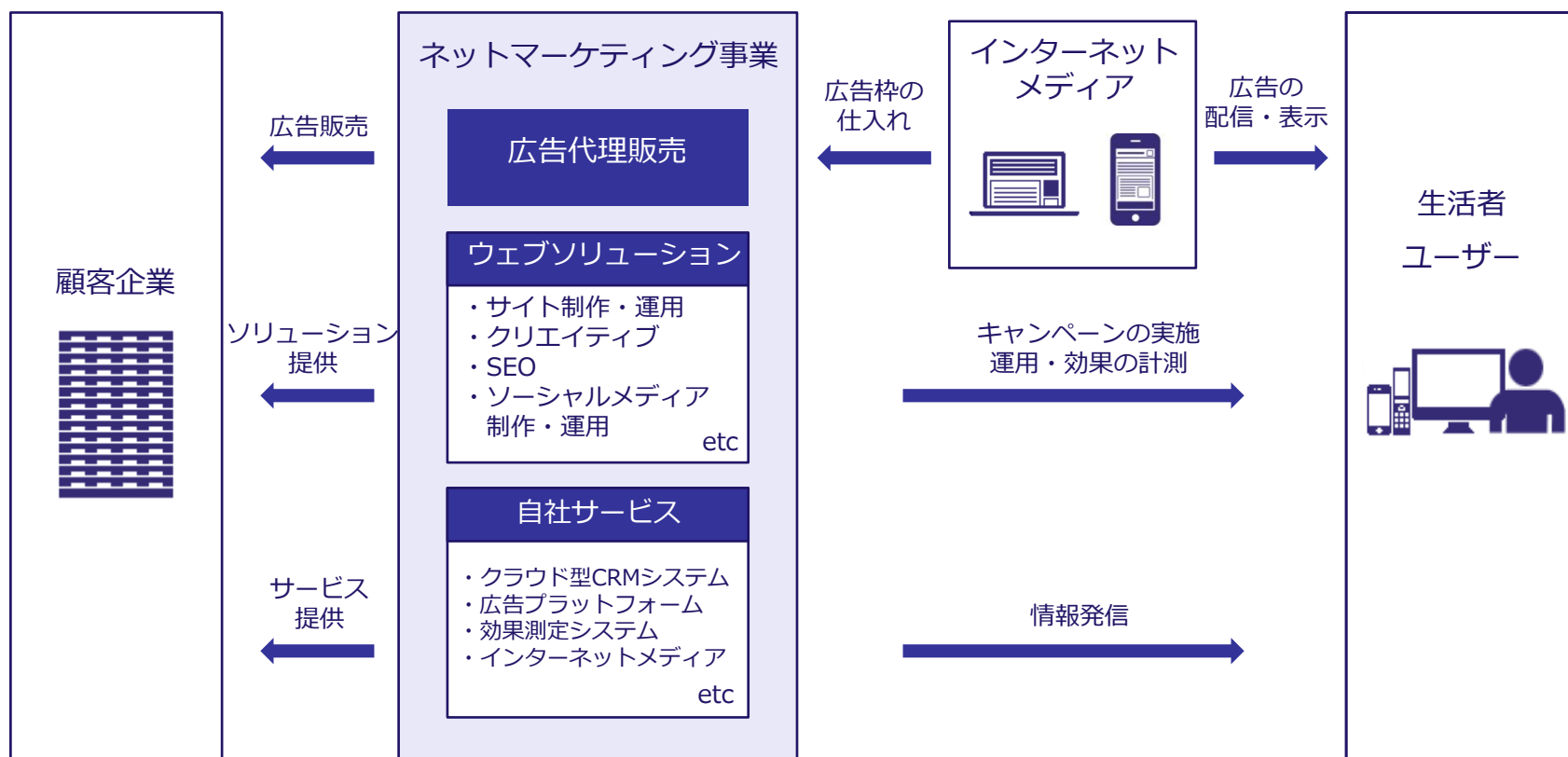
(株)セプテーニ・ベンチャーズ

ノンコア事業

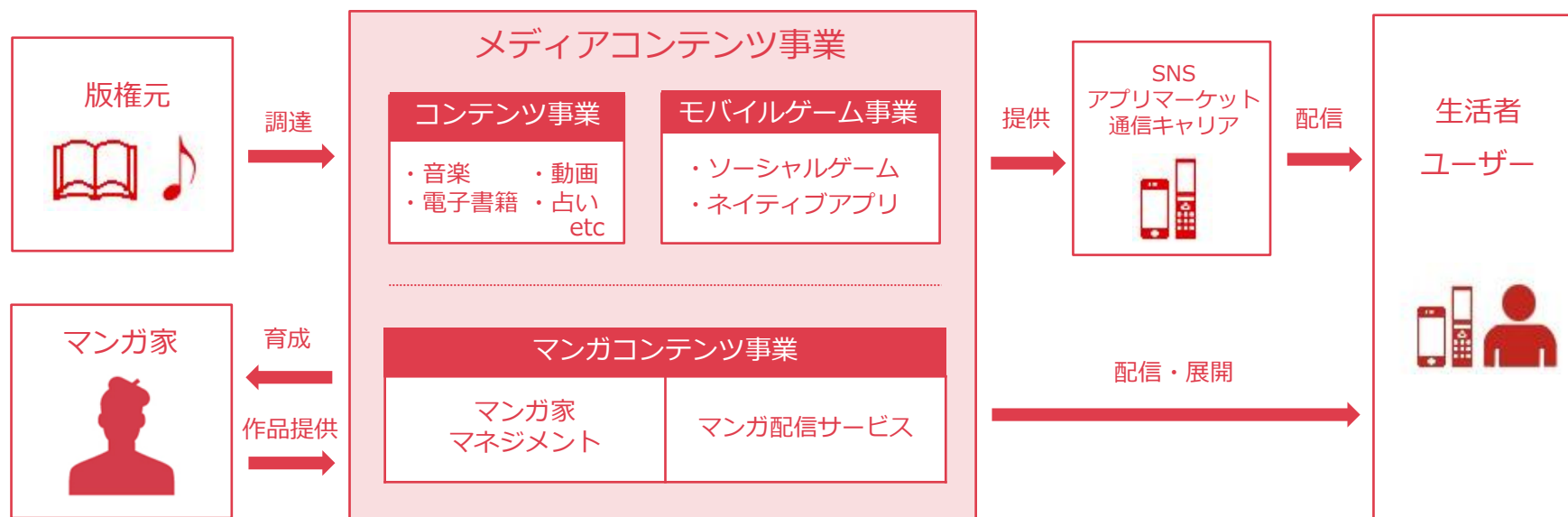
アクセルマーク(株)

モバイルゲーム事業

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。インターネット広告の販売や各種ウェブソリューションの提供をはじめ、**自社サービス**としてアドネットワーク等のマーケティングプラットフォームやクラウド型CRMサービスの運営も手がける。



主にスマートフォン向けにモバイルゲームをはじめとする**各種デジタルコンテンツを企画・開発**し、SNSやアプリマーケット等様々なプラットフォームを通じて生活者に提供。
また、**自社IP（知的財産）の企画・開発**を目的に、マンガ家の育成・輩出、マンガ配信サービスの運営を手がける。



※モバイルゲーム事業、コンテンツ事業は、2016年9月期以降ノンコア事業に変更

	2015年9月期 期末	2014年9月期 期末	増減	主な変動
(単位：百万円)				
流動資産合計	22,486	18,115	+4,371	現金及び預金+2,902 受取手形及び売掛金+1,623
固定資産合計	2,901	3,510	-609	のれん-507 繰延税金資産-232
資産合計	25,387	21,625	+3,762	
流動負債合計	12,941	11,069	+1,871	買掛金+1,633 短期借入金+226
固定負債合計	160	352	-192	長期借入金-166
負債合計	13,101	11,422	+1,679	
純資産合計	12,286	10,203	+2,082	利益剰余金+2,169
負債・純資産合計	25,387	21,625	+3,762	

(単位：百万円)	2015年9月期 通期	主な内訳	2014年9月期 通期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,874	税金等調整前当期純利益 + 4,061 子会社株式売却益△1,098 法人税等の支払い△1,703	2,830
投資活動による キャッシュ・フロー	1,257	子会社株式の売却による収入 + 1,249	△913
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 123	借入金の増減 + 51 配当金の支払い△228	178
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1		21
現金及び現金同等物の 増減額	3,006		2,117
現金及び現金同等物の 期末残高	11,694		8,687

(単位：人)

